

市民公開講演(入場無料)

「福島原発事故6年 一人の語り部として」

講演者: 共に育ち合い(愛)サロン むげん 代表 増田昌子 氏

東日本大震災、福島第一原発事故の発生から6年。長期にわたり避難生活を余儀なくされている人々は、それぞれが、人生の選択をする時期を迎えている。

原発事故後、福島県に隣接する新潟県には、一時、一万人を超える避難者が押し寄せた。原発周辺の町村から、仕事や親戚・知人の縁を頼りに、二千人を超える人々が避難先としたのが、同じ東京電力の柏崎刈羽原発が立地する柏崎市だった。

柏崎市は、その4年前に発生した新潟県中越沖地震によって商店街が壊滅的な被害を受けた。被災した町で課題にぶつかり、助け合った経験をもとに、2011年の東日本大震災発生時、いち早くたったひとりで動き始めたのが、元柏崎市職員の増田昌子さん、通称「姐さん」だった。

姐さんの立ち上げたサロンには、時に着る物や生活必需品を求め、時に居場所を求め、さまざまな人が訪れた。ふるさとを失った人たちの人間関係、生活再建に向けた暮らしの課題、学校でのいじめ、子育ての悩みに、友となり仲間となって寄り添い続けた6年の軌跡から、あらゆる支援活動に通じる原点を振り返る。

【日時】2017年3月31日 10:30～12:00(開場10:00)

【会場】東京大学医学部 鉄門記念講堂(医学部教育研究棟14階)

所在地: 〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

【参加・お問合せ】どなたでも参加できます。入場は無料ですが、下記宛先にメールにて事前登録をお願いします。

宛先: cgh-so@m.u-tokyo.ac.jp

東京大学大学院医学系研究科 国際地域保健学教室

【アクセス】東京メトロ丸ノ内線・都営地下鉄大江戸線「本郷三丁目」駅より徒歩8分



東京大学本郷キャンパス内地図